

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 27 年 8 月 5 日発行

## 8月の主な行事予定

8月7日(金)

第40回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(とりぎん文化会館他)



### 中部地区人権教育懇談会を開催!

平成27年7月4日(土)に、教育行政担当職員及び人権推進員を対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。今年度は徳島県藍住町立藍住中学校より森口健司先生にお越しいただき、『「ひとごと」から「わがごと」へ～自己をみつめ、語り、他者とつながる人権学習～』と題して御講演いただきました。

#### ◆森口先生の紹介

徳島県藍住町立藍住中学校教諭。大学時代、京都での被差別体験から教職への思いを強く持ち、1990年度徳島県の中学校教諭に。当時より子どもたちの心に響く同和教育、「生徒が生徒を変える、語り合いの人権・部落問題学習」に取り組まれている。また、2003年度から3年間、徳島県教育委員会生涯学習課の社会教育主事として人権教育、人権啓発を担当。その後も広島大学や愛媛大学で人権教育の講座を担当されるなど学校教育、社会教育の場で活躍されている。



#### ◆講演内容

##### (1) 人権劇「スダチの苗木」について

この「スダチの苗木」は、森口先生の学生時代の実体験をもとに、とりわけ父親の職業へのこだわりから出自を隠そうとする主人公の心の葛藤を描いた作品である。部落差別の現実が背景にあり、自分の生き方を学ぶ教材として多くの中学校で人権劇として取り組まれている。

##### (2) 石川一雄さん(狭山事件)との関わりから

石川さんとの関わりから、「私たちに問われている生き方は、世の中の問題をきちんと解決していき、そして自分に何ができるかを問い続けていくことではないか」と教えられた。

##### 【石川さんと看守さんとのエピソード】

「刑務所で過ごした31年の中ですばらしい看守さんに出会えた。看守さんは私の無罪を世間に知ってもらうために文字を使って訴えるべきだと教えてくれた。そのため看守さんは私に文字の書き方を教えてくれた。練習のためのちり紙も用意してくれた。のちに、看守さんは文字を教えたことで世の中の間違いを正し、真実を述べて生きる生き方を自分の娘に教えていくことができたと言ってくれた。」

##### (3) いつも心に響いている言葉がある

「悲しみが見えないで幸せが見えるか」教育は信頼と尊敬である。自分は本当に子どもを信頼し、尊敬しているか、子どもたちと本当にそういう関係ができているか問うている。

##### 【恩師佐藤文彦先生の言葉より】

- ・雨が避けられないとすると、その雨を両手で受ける以外にありません。そして、その雨のおかげでこんな日になったんだというような日を作り出す。それ以外に道はありません。
- ・自分は足が不自由でいつもかけっこではビリだった。自分は到底一番にはなれないだろうが日本一のビリッ子になってやろう。ビリッ子だからといってぶつぶつ言うまい。ビリッ子であることを避けようとしたり、ごまかそうとしたり、そんな生き方はしない。雨の日には雨の日の生き方があるように私には私であることの上に生きる生き方がある。

森口先生の体験を聞き、私にも同じような体験があったことを思い出しました。自分自身を語ることで豊かな人間関係が築けること、そして、それが差別をなくす取組につながることを実感しました。

小地域懇談会が盛り上がらないという実態はどこにでも見られることですが、お話を聞き、地域内で人との繋がりが弱ければ人は集まらないことがわかりました。

「自分が自分を語ること」これが自分事として考えるきっかけになると思います。



参加者の感想

森口先生のパワフルなお話を聞くことができてよかったです。「生き方は変えることができる」という言葉や狭山事件の石川一雄さんの話を家族にも話したいと思いました。



森口先生からあたたかく勇気の出る言葉をたくさんお聞きし、その中で自分を語る事ができているか振り返ることができました。また、人との出会いの中で関係性を築き、語り合い、心が揺さぶられ、自分はこうなりたいという思いを持つことが人権学習であることも再確認できました。地域でも学校でも語り合える仲間づくりを目指していきたいです。(岸本)

## ちゅうぶくん

～元気の素は近くにある～



## お知らせ

鳥取県手話学習会開催事業費等補助金を活用して、職場や地域で「手話」を学んでみませんか。鳥取県では手話学習を応援する補助制度を設けています。是非、活用してみてください。

### 手話学習会の開催経費を支援！

- 補助対象団体  
企業、社会福祉法人、NPO 法人等の事業者、町内会やPTA
- 補助額  
1 回あたり 15,000 円（年 6 回を上限）
- 補助対象経費  
講師謝金、旅費、テキスト代、会場使用料など



### 【問合せ先】

鳥取県福祉保健部障がい福祉課  
☎0857-26-7201 FAX 0857-26-8136  
電子メール [shougai Fukushi@pref.tottori.jp](mailto:shougai Fukushi@pref.tottori.jp)

### 【あしがき】

ある日、ネットニュースを見ると、今日は天気が良いので宇宙ステーションが肉眼で見えるとのこと。予定時刻ちょうどに北西の空を見上げると、明らかに飛行機とは違う光り輝く物体が通過していきました。乗船されている油井さんにはどのように地球は映っているのでしょうか。感動のひとつときでした。ついでに娘の自由研究も思い出しました。(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail [kishimoto-r@pref.tottori.jp](mailto:kishimoto-r@pref.tottori.jp)

